

岡山市指定管理者モニタリング評価シート(令和8年5月実施)

1、基本情報

施設名(所在地)	岡山市日応寺自然の森(岡山市北区日応寺200)・岡山市立少年自然の家(岡山市北区日応寺4)		
指定管理者名	観空産業株式会社		
指定管理料	88,437,660円 総額(上限額) 452,900,000円	指定管理期間	令和3年4月1日 ～令和8年3月31日 (5年間)
公募/非公募	公募	対象期間	令和7年4月1日 ～令和8年3月31日
施設所管課名	岡山っ子育成局子育て支援部地域子育て支援課		
設置条例	岡山市日応寺自然の森条例・岡山市立少年自然の家条例		

2、事業報告の概要

施設の利用状況	利用者数(3カ年度分記入)(人)		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	自然の森 76,546 自然の家 17,926	自然の森 79,718 自然の家 19,677	自然の森 77,713 自然の家 19,555
	使用料(利用料)収入等推移(3カ年度分記入)(円)		
	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	26,815,878	31,151,326	31,845,443
	上記推移の理由等		
	【自然の森】 ≪令和5年度≫ ・団体利用80団体、4,799人。 ・新型コロナウイルスが5類への移行に伴い、行動制限を求められなくなり、屋内での活動も増えたり、他の施設を利用されたりするようになったと考えられる。 ・使用料については、猛暑で屋外での活動を控える傾向により利用者数が減少し、パターゴルフの利用者も減少したと考えられる。 ≪令和6年度≫ ・公園利用者数は昨年度より約3,000人増加しているが、団体利用84団体4,992人とほぼ横這い傾向にある。 ・パターゴルフなどの使用料収入は減少しており、物価高騰などの影響で節約志向が高まったと考える。 ≪令和7年度≫ ・公園利用者数は、昨年度より約2,000人、団体利用についても82団体4,376人と減少している。 ・パターゴルフなどの使用料収入も、昨年度に続き減少している。猛暑で屋外での活動を控える傾向があることと、物価高騰の影響が大きいと考えられる。		
	【自然の家】 ≪令和5年度≫ ・宿泊研修は107団体、日帰り研修は63団体。 ・「山の学校」の実績は、予定通り84校が1泊2日利用。 ・岡山県小学校管楽器教育連盟は、全て日帰り利用が続いている状況。 ≪令和6年度≫ ・宿泊研修は109団体、日帰り研修は55団体。 ・「山の学校」の実績は、昨年度より1校増加し、市内86校(分校を除く)中85校が1泊2日利用。 ・岡山県小学校管楽器教育連盟は、全て日帰り利用が続いている状況。 ≪令和7年度≫ ・宿泊研修は110団体、日帰り研修は61団体。 ・「山の学校」の実績は、昨年度より1校増加し、市内86校(分校を除く)すべての小学校が利用。 利用状況は、85校が1泊2日、1校は学級閉鎖(インフルエンザ)により1月に延期し、日帰り利用。 ・岡山県小学校管楽器教育連盟は、全て日帰り利用が続いている状況。 ・コロナ前、子ども会は3泊4日利用であったが、コロナ後は、日帰りまたは1泊2日での利用。また、青少年団体においては、コロナ前は1泊2日での利用があったが、コロナ後は利用がない状況。		
	アンケート結果 及び反映	実施期間	【自然の森】 年間と自主事業開催時 【自然の家】 利用団体受け入れ時と自主事業開催時
実施方法		【自然の森】 ・管理棟窓口にアンケート箱を設置。自主事業は閉会前に参加者全員に「アンケート」記入を依頼し提出。 【自然の家】 ・利用団体には、受付時に「アンケート」記入を依頼し、退所までに提出。自主事業は閉会行事前に参加者全員に「アンケート」記入を依頼し提出。	
結果		【自然の森】 ・提出していただいた「アンケート」を基に、職員で情報を共有し、課題が明確になった。 【自然の家】 ・提出していただいた「アンケート」を基に、職員で情報を共有し、課題が明確になった。	
事業等への反映状況		【自然の森】 ・課題や改善点として職員で協議し、事業に生かした。 【自然の家】 ・修繕については可能な限り職員で行い、困難な作業は業者等に依頼した。また、プログラムの改良や利用者へのサービス向上に努めた。	

業務の実施状況	【自然の森】 ・施設等の維持管理業務については、利用者の安全・安心を第一に、毎日の巡回、遊具等の点検で異常や不具合を早期に発見し、速やかに修繕するなどの対応をした。また、利用者に気持ちよく使用してもらえるように、計画的な植物管理(植栽の剪定・芝刈り・害虫防除、松喰枯損木伐採、花の植え替え等)と日々の清掃業務で環境美化に努めた。 ・運営業務については、緊急時に迅速な対応ができるよう職員は常に無線機を携帯している。また、看板設置(施設案内・注意事項等)や巡回時の声掛けで利用者の安全を図った。自主事業においても、熱中症対策や怪我防止に努め、参加者の健康と安全に配慮した。 【自然の家】 ・施設等の維持管理業務については、利用者が安全で安心して活動できる環境整備に努めるために、年間と閑散期の作業計画による作業(活動の整備、谷川清掃、柴かき、朽木等)を実施したり、日々の点検や安全点検等で修繕箇所が確認できたときには迅速な修繕を行ったりした。 ・運営・研修指導業務については、「岡山市立学校熱中症対策ガイドライン」を踏まえ、岡山市立少年自然の家としての方針(環境条件の把握・利用者の健康状態等の把握・活動時間や活動の行い方の工夫・活動前中後の水分補給の確保等)を全職員で共通理解し、利用者の安全を最優先に環境を整えた。また、熱中症予防のため、当日の「PM2.5」「WBGT指数」の情報に加え、「暑さ指数計」で活動前に3箇所を測定し、引率者に客観的な数値を知らせ利用者と共通理解を図り、安全で安心して活動ができるように努めた。救急車の要請は一度もなかった。
---------	--

3、点検結果

評価項目	点検結果	意見、特記事項等
施設の運営及び管理等	○	適切な施設の運営及び管理等が実施されている。
人員配置・人材育成等	○	人員は適切に配置されており、職員研修等も実施されている。
平等利用・利用促進・サービス向上等	◎	各学校へ積極的に広報活動を行った結果、市内86校全ての小学校(分校を除く)が山の学校として利用するなど利用促進ができていた。
収支等	○	収支等が適正に管理されている。
安全対策・危機管理等	○	緊急時のマニュアルや連絡体制が整備されており、安全な施設運営がなされている。
個人情報・情報公開等	○	個人情報等が適正に管理されている。

4、年度評価

市による年度評価
・指定管理者としての責務を十分に果たしており、適正に指定管理業務を実施していると評価する。 ・特に、学校等への広報活動の結果、市内86校全校(分校を除く)の利用に繋がるなど利用促進を図ったほか、利用者の安全面を考慮した対策等を実施し、日々適正に運営管理している点を高く評価する。 ・当該施設は引き続き同じ指定管理者が指定管理を行うため、閑散期の利用者数のさらなる増加に向けて取り組み、引き続き適正な運営管理をお願いしたい。